

利用案内

開館時間 午前9時30分から午後4時30分

休館日 毎週月曜日(祝休日と重なる場合はその翌平日)

12月29日から1月3日

入館料 無料

所在地 東京都台東区上野桜木2丁目10-6

03(3823)4408

交通 都営バス上26系統「谷中」徒歩1分

台東区巡回バス東西めぐりん

「旧吉田屋酒店」徒歩1分

東京メトロ千代田線 根津駅 徒歩10分



記念スタンプ

台東区立

ここから徒歩およそ20分

したまちミュージアム

台東区を中心とした下町地域の文化や伝統を永く後世に伝えるために設立されました。見どころは、昭和30年代の台東区の金杉通りと建物を再現した展示です。館内では実際に、再現展示の提灯屋や裏長屋に上がって当時の生活道具を手にとって見ることができます。

開館時間 午前9時30分から午後4時30分(入館は午後4時まで)

休館日 毎週月曜日(祝休日と重なる場合は翌平日)

12月29日から1月3日、特別整理期間等

入館料 一般 300円(200円) 小中高生 100円(50円)

※()内は20人以上の団体料金

所在地 東京都台東区上野公園 2-1

03(5846)8426

台東区立 したまちミュージアム付設展示場

旧吉田屋酒店





日本酒、ビール、製糖会社などのポスターや看板を展示しています



軒下に桁が張り出しています。その下の重厚な差し鴨居と呼ばれる部分は、建物の荷重を支えるとともに商家の格式を示すものでもありました

こも樽や陶製の樽に入れられた日本酒は、杓や徳利で量って販売していました



営業していた頃の吉田屋酒店 昭和8年(1933)

台東区立したまちミュージアム付設展示場 旧吉田屋酒店

吉田屋酒店は、現在の谷中六丁目の一角にあった江戸時代以来の老舗の酒屋で、昭和61年(1986)まで営業していました。台東区によって現在の位置に移築され、したまちミュージアム付設展示場として昭和62年(1987)5月に公開されました。

この建物は明治43年(1910)に建てられ、昭和10年(1935)階段の付替えや正面入口のガラス戸の新設など一部を改築していますが、江戸商家の建築様式を残しています。正面は一、二階ともに軒下に桁を張り出した「出桁造り」という構造で、一階の出桁を二重にして商家特有の長い庇を支えています。正面出入口には横長の板戸や格子戸を上げ下げして開閉する「揚戸」^{あげど}を設け、間口を広く使って酒樽など商品の運搬・販売に都合の良い構造となっています。板戸と格子戸は中柱の溝に沿って上下させました。店の内部には土間があり、一階は商品陳列や販売をするスペースと、番頭が商品や金銭の出し入れを記録する帳場があります。商品は酒のほかに、醤油、塩、砂糖なども扱っていました。二階は住み込みの店員の部屋として使われていました。

平成元年(1989)に一階店舗と二階部分および道具・文書類が台東区指定有形民俗文化財になりました。